

令和7年1月31日

札幌中小建設業協会 令和6年度安全標語

〔 優 秀 賞 〕

慣れと油断とルール無視 せまる危険は予告なし

あなたの命に予備はなし

作者 内 館 昂 希 氏 (株オオイ工務店)

※令和7年度の安全標語は、2月から募集開始予定です。

会長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃より、当協会の活動、事業推進に格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月に罰則付き時間外労働の上限規制が、建設業や運送業でも始まりました。官公庁の発注工事では工期を今までよりも伸ばしていただくなど対応いただけてまいりました。民間の発注者の皆様にも、働き方改革へ引き続きご理解を求めていく考えです。

4月には札幌市と道の営繕工事で週休2日制も本格スタートしました。国土交通省によると、23年度に完工した道の公共工事で週休2日達成率は90%超に達し、全国平均を大きく上回っています。当協会としても感謝するとともに、引き続きの取り組みをお願いしていく所存です。

また、官公庁工事に関しては、早期発注の実施を今まで以上の件数でお願いしたいと考えています。書類作成業務を春の雪解け前に済ませることができれば、時間外労働の削減につながります。当協会としても引き続き要望していきたいと思えます。

一方、数年前からの資材高騰はいまだに収まりを見せず、価格が上がり続けているのが現状です。公共工事の積算基準が追いついていないため、最低制限価格の引き上げと合わせて、価格変動へのより広範な対応を求めていきたいと考えています。

建設業の魅力アップに向けては、札幌市と当協会を含む19団体が参加するさっぽろ建設産業活性化推進協議会で、建設産業活性化プラン2025の策定に向けて議論を進めてい

ます。週休2日制のPRポスターや業界PR動画、助成金制度の見直し検討など、新たな取り組みも形になってまいりました。協議会の皆様と連携しながら、建設業の担い手確保や効率化に向けて、引き続き尽力してまいります。

人材不足への対応策としては、建設ディレクターの活用が今後期待されます。現場作業が難しくなった高齢技術者や、女性を含む新人技術者に従事いただければ、企業全体での労働時間の削減にもつながるはずです。

協会としましては、地域の安全安心の守り手としての使命感を強く持ち、札幌市との連携を強化しながら災害など有事に備えてまいります。引き続き、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとって実り多く素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

令和7年新春 一般社団法人札幌中小建設業協会 会長 大井 貞雄

行 事 情 報

○ 定時総会が開催される。

一般社団法人札幌中小建設業協会第16回定時総会が1月23日、札幌パークホテルで開かれ、会員社から80名余りの皆様が出席して行われました。感染症の流行が続いておりますが、お陰様で、昨年に続き今年も無事開催することが出来ました。



定時総会の議事内容

は、本号にてお知らせしておりますので、後ほどご覧ください。提出議案については、全て承認されました。

“総会風景”

○ 新春懇談会が開催される。

定時総会に続き、同所にて、一般社団法人札幌中小建設業協会新春懇談会が、会員社並びに来賓95名の参加を得て開催されました。札幌市からは天野札幌市

副市長、芝井交通事業管理者、村瀬水道事業管理者、荻田建設局長、小泉下水道河川局長、釜石都市局長、そのほか関係機関、団体から多数の来賓を迎え盛大に執り行われました。

懇談会は、大井会長の挨拶の後、御来賓の天野副市長が祝辞の中で、札幌中小建設業協会会員企業の日頃からの安全、安心への取組と胆振東部地震以来の尽力に謝辞を述べるとともに「今年は阪神淡路大震災から 30 年の節目の年。中建協の会員の皆様には、都市基盤整備、維持、災害に強い街づくりに大きな力添えを頂いている。街の守り手である建設産業を将来にわたって守っていくことが非常に重要なことと再認識している。」「また、秋元市政が 10 年の節目となる年で、今後 100 年を見据えた魅力ある街づくり計画を策定したところ。今後とも持続可能な建設産業となるよう担い手確保や生産性の向上など各種施策を進め、事業予算を確保し、協会の皆様と連携を図りながら、確実に事業を進めていきたい。」とのご祝辞を頂戴しました。

定時総会の概要

1 月 23 日(木)午後 4 時より、パークホテルにおいて、当会の第 16 回定時総会が開催されましたので、本号ではその概要について報告いたします。

【司会】

当日は、まず、司会を務める三鍋総務委員長(株佐野重機)から、会員社 71 社(出席 81 名)、委任状提出 20 社であり本総会が成立していることを報告した後、大井会長(株オオイ工務店)から以下の挨拶がありました。

【大井会長挨拶】

2009 年 1 月に当会が設立され、早や 16 年が経過した。当時と比較して、近年は入札不調が目立つ状況にある。一方で、札幌市において建設産業活性化推進協議会を設け、我々、中小建設業者の意見に耳を傾けてくれている。

当会においても、各工種の技術委員会を中心に、会員企業から集約した意見要望を基に、毎年、市の実務担当者との間で意見交換会を行っているところだが、協会としての要望を今後も様々な機会をとらえて市に伝えることが必要だと思う。

特に新年度事業の皮切りとなる地域別懇談会は、令和 5 年(4 年振り実施)、令和 6 年と続けて実施することが出来た。会員の皆様からいただいた貴重な意見を、8 月～9 月にかけて行う市との意見交換会において関係部局に挙げていくことが出来た。今年も、3 月 26 日(水)、3 月 28 日(金)、3 月 31 日(月)に、「ホテルモントレ

ーエーデルホフ」において実施予定なので、是非ご出席願いたい。

【新入会員紹介】

令和6年に入会された、中央区の㈱クリーンアップ山谷専務からご挨拶をいただく。

“新会員紹介風景”



【中西議長選出】

会則の規定により、1月16日(木)開催の定例役員会において、あらかじめ選出された中西副会長（中定建設工業㈱）が議長を務めることとし、以下、議事を進行。

【議事進行】

中西議長の進行により、以下、報告2件、議案2件について審議。

報告第1号 令和6年度事業報告

千葉副会長（光建工業㈱）より報告。

「令和6年度事業報告」をいたします。議案書は2頁です。

まず、大項目1点目の **総括**としまして、

令和6年度は、札幌市の建設事業費1,492億円が計上され、これは、先に提案されました「札幌まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」による5年間の建設事業費総額7,928億円に基づくものであり、ここ数年安定した発注に至りました。

しかしながら、過去の工事量減少の影響から、経済情勢が不透明な中、雇用の確保、人材育成、資材不足等多くの課題があり、特に現場従事者不足が顕著で、中小建設業には多くの面で困難な年でありました。

そのような中で本会は、ますます重要となっている中小建設業の結束を図るため、会員の意見、要望集約に取り組むと共に、組織の強化を目指し、本会の運営を進めてまいりました。

(次に、議案書2頁～3頁)大項目2点目 **各種会議**ですが、

- (1) 定時総会を開催するとともに、通常どおり、新春懇談会を開催することが出来ました。
- (2) 理事会(正副会長会議)、
- (3) 役員会、
- (4) 委員会は予定どおりの開催となり、
- (5) 地域別会員懇談会は、前回に続き、ネストホテルにおいて

開催し、働き方改革への対応等、当面する課題について活発な意見交換が行われました。

(続いて、議案書3頁～7頁にかけて)

大項目3点目 調査研究・研修事業ですが、

- (1) 新規事業として、中建協が主催し、関係3団体協賛による、**ASP研修会**を開催し、多数の関係者、企業が参加する大規模な研修会となりました。今後とも、業務効率化につながる情報共有システムの利用推進を図って参りたいと考えております。
- (2) **代表者研修会**を、昨年について実施し、建設関係部局の新年度の執行方針、予算概要等について、いち早く、説明を受ける機会となりました。
- (3) **現場技術者研修会**については、一昨年まで、感染症対策を踏まえ、各社1名の人数制限を設けた上で開催しておりましたが、前回に続き通常規模での集合研修を実施することが出来ました。合わせて、一昨年からスタートした「オンデマンド」「リモート研修」として実施し、3回目のハイブリッド型研修会としました。
- (4) **秋季代表者研修会**は、大樹町において、宇宙港を運営するSPACE COTAN(スペース・コタン)株式会社の小田切社長による講演を実施することが出来ました。また、研修会後に市の幹部職員を招いての意見交換会を開催しました。
- (5) 工事施工に伴う諸問題の調査を、アンケートにより調査しました。
- (6) この調査により現場技術者から集約した意見、要望をテーマに札幌市5部局の課長クラスと**意見交換会**を行い、解決・改善の方向を探りました。
- (7) その内容を取りまとめて、「**意見交換会の概要**」として報告書にまとめ、全会員と札幌市関係部局に配布しました。

(次に議案書7頁～8頁) **大項目4点目 安全推進事業**としましては、

- (1) 例年4月に開催しております**安全大会**については、昨年について通常規模で開催することが出来ました。また、同時に開催の、安全管理(年間総括)講評会も、通常規模での実施となり、講話後は、施行者代表の安全宣言を行い、盛会裏に終了しました。
- (2) **安全管理現場研修**を10月に実施し、発注部局から関係職員の同行を得て、通常規模での研修を行ないました。
- (3) **普通応急手当講習会**は、例年通り、3月に実施しました。

(4) 市有施設に係る災害時伝達、参集訓練として、10月に、多数の会員企業の参加のもと、実施しました。

(次に議案書9頁)大項目5点目 防犯推進事業では、

(1) 防犯推進部の活動状況としては報告のとおり、取扱件数2件で、前年比-2件の減でした。その内訳で暴力団に関係する事案はなく、いずれもクレーム対応に関する相談でした。

また、暴力団の現状等講話を実施しました。

(2) 暴力追放事業への参加、推進としては、

ア「北海道暴力団排除推進会議」については引き続き、感染症対策のため「Zoomによるオンライン開催」となり、資料送付を受けました。

イ「暴力団離脱者支援協議会」が、7月にかでる2・7で開催され、当会会長が「幹事」に就任しました。

ウ「夏の暴力追放運動」に参加いたしました。

エ 10月の「北海道暴力団追放道民大会」、「札幌地区暴力追放総決起集会」に参加しました。

また、オ12月の「冬の暴力追放運動」に参加しました。

(3) こども110番事業への協力を継続し、会員企業が市内各所において、子供たちの安全安心を見守る地域貢献活動を実施しました。

(4) 交通安全情報、(5) 特殊詐欺情報等、をメール送信しました。

(次に、議案書10頁)大項目6点目 要望・陳情活動では、

(1) 市長陳情を12月下旬に実施し、4項目の申し入れを行ないました。

(2) 自由民主党札幌市支部連合会と政策要望懇談会を開催しました(報告はメールによる開催、要望懇談は対面にて開催)。

(次に、)大項目7点目 親睦事業ですが、

例年どおり、6月に協会主催による親睦ゴルフ大会を開催しました。

(また、その下)大項目8点目 広報活動としては、広報誌『中建協だより』を年6回(1、4、5、6、11、12月号、うち臨時号1回)発行しました。また、ホームページを更新しました。

最後に、(議案書10～11頁)大項目9点目 **会員の動静**ですが、令和6年中の入会企業が1社、退会企業が5社あり、会員社126社となっております。

以上でございます。

報告第2号 令和6年度決算報告及び監査報告

長江副会長(道建工事㈱)より報告。

「令和6年度決算報告」につきまして、ご説明申し上げます。議案書は12頁から14頁です。

社団法人として第5期の決算となりますが、札幌中小建設業協会としては通算で16回目の決算となります。

(中略)

新型コロナ感染症対策中には、事業規模の縮減を余儀なくされましたが、昨年につき、今期も、当初想定した規模の決算数値となりました。

以上で令和6年度の決算報告を終わります。

監査報告

石田監事(㈱興陽技建)からの監査報告。

令和7年1月16日、一般社団法人札幌中小建設業協会の事務所におきまして、私と札幌建設運送の矢部監事が、令和6年度会計における、収入支出決算について、通帳並びに関係帳簿、証票書類等を照合検査の結果、いずれも適正に、正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

以上の説明の後、報告第1号、第2号が承認された。

議案第1号 令和7年度事業計画(案)

鈴木和茂副会長(新立大一興業㈱)より説明。

「令和7年度事業計画(案)」を説明いたします。議案書は16頁です。

具体的な説明に先立ちまして、全体の見通しについて述べさせていただきます。ご案内の通り、一昨年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行した一方で、コロナ変異株やインフルエンザの流行等、感染症の拡大は未だに収まる状況には至

っていない現状でございます。

こうした中、社会経済活動も徐々に回復し、協会運営を積極的に進めた結果、令和5年に続き、令和6年においても、すべての事業を通常規模で実施することが出来ました。

また、これまでの経験を踏まえて、集合研修に、「オンデマンド」「リモート」研修を併せて行う等、研修方法にも工夫を加えて実施して参りました。

冒頭、述べましたとおり、社会経済情勢、感染症等、不透明な状況が続きますが、これらの動向を見極めながら、前期同様に各種の事業を進めていく考えでありますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

大項目1点目 各種会議ですが、

- (1) 総会、(2) 理事会、(3) 役員会、(4) 委員会を記載のとおり行ないます。
- (5) 地域別会員懇談会を3月末に計画しております。2月に入りましたら、状況を見極め、御案内をいたしますので、ご参加の程よろしくお願いいたします。

(議案書16頁～17頁)大項目2点目 調査研究・研修事業ですが、

- (1) 春季の代表者研修事業を、予算確定後すみやかに
 - (2) 現場技術者研修会を6月に、
- また、
- (3) 秋季代表者研修会を11月に、
- それぞれ開催予定としております。
- (4) 工事施行に伴うアンケートにより現場意見を調査し、その結果に基づき札幌市との意見交換のテーマといたします。
 - (5) 現場技術者から集約した意見、要望をテーマに、札幌市関係部局の課長クラスと8月以降、意見交換を行います。
 - (6) その内容を取りまとめて、「意見交換会の概要」として報告書を作成し、全会員と札幌市関係部局等に配布します。
 - (7) 大型工事見学会は、対象現場があれば随時実施します。

(議案書17頁)大項目3点目 安全推進事業としましては、

- (1) 安全大会を安全管理(年間総括)講評会を含めて4月に開催、
- (2) 安全管理現場研修を10月に実施します。

(3) 応急手当講習会を春の工事開始前3月に行ないます。

(議案書17頁～18頁)大項目4点目 防犯推進事業では、

(1) 防犯推進部の体制については、従来通り防犯推進部長が毎週1日常駐し、その対応を行います。

(2) 公益活動への参加については、

①暴迫センター事業への参加

②「北海道暴力団排除推進協議会」への参加

(3) こども110番事業への協力について、引き続き、多くの会員企業からご協力頂くほか、

(4) 各種情報発信を行います。

(議案書18頁)大項目5点目 要望・陳情活動では、

(1) 市長陳情を12月下旬に実施し、申し入れを行ないます。

(2) 財政局契約担当、建設局工事担当等の関係機関との意見交換会を必要に応じて実施します。

(その下)大項目6点目 親睦事業では、

今年度は、ゴルフ以外特に計画はありませんが、良い提案があれば、適時実施を計画します。

大項目7点目 広報活動としては、

研修事業や役員会の動向等各種情報を提供する『中建協だより』を(1, 4, 5, 6, 11, 12月の)年間6回発行する予定です。

また、従前の災防協のホームページから独立してリニューアルした『中建協ホームページ』につきまして、『中建協だより』の発行に合わせて、逐次、改訂・追加して参りますので、御覧いただければと存じます。

最後に、大項目8点目 行政機関等に対する協力として、暴力追放センター等の行政機関が実施する啓発、公益事業に適宜参加・協力します。

以上でございます。

議案第2号 令和7年度予算(案)

鈴木吉則副会長（丸菱建設㈱）より説明。

「令和7年度予算（案）」を説明いたします。議案書は19頁です。

費用全体としては、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症対策のもと、事業の中止、規模縮小を余儀なくされながらの協会運営を続けて参りましたが、令和5年度、令和6年度は、ともに、計画したすべての事業を通常規模で実施することが出来ました。今期につきましても、昨年につき、各事業を従来通常規模で実施していく、この方針で予算案を作成しております。

なお、個々の事業の実施につきましては、定例役員会での検討を経て、その時点で、最善の形での実施に努めていく考えでありますので、会員の皆様のご理解をいただければと存じます。

（中略）

これらの結果、収入、支出同規模の収支見合いの予算案となりました。今後とも、経費の見直しを進めながら、効率的な協会運営に努めて参りたいと考えております。

以上で令和7年度収支予算(案)の説明を終わります。

以上の説明の後、議案第2号、議案第3号が可決承認された。